

待機児童緊急対策等の取り組みについて

本市では、平成28年度から待機児童解消に向けた緊急対策を行い、3年間で約3,800人規模の受入枠増を図ってきました。特に今年度は「待機児童完全解消プロジェクト」として2019年(平成31年)4月の待機児童の解消に向け、2,000人規模の受入枠増を図ったところです。

しかしながら、就学前児童数が増加していることや保護者の就労意欲の高まりによる入所希望者が予想を上回り増加したため、2019年(平成31年)4月においても一定数の待機児童が発生すると見込まれます。また、これらに加え、2019年10月から国の幼児教育・保育の無償化が実施されるなど、保育ニーズの高まりに対応したさらなる待機児童対策が必要となっています。

このような状況を踏まえ、平成31年度においては、当初計画していた600人の受入枠の拡充を1,200人に拡大し、就学前児童数の約5割が利用できる環境を整えるとともに、2020年4月の待機児童の解消を目指します。

【参考：就学前児童数と認可保育所の申込児童数等の推移(2016～)】

(単位：人)

	2016.4	2017.4	2018.4	2019.4	2020.4
就学前児童数(A)	16,060	16,357	16,745	17,300	17,800
受入枠	4,410	5,196	6,148	8,148	9,348
申込児童数(B)	5,510	6,467	7,149	8,400	9,400
保育所等申込率(B/A)	34.3%	39.5%	42.7%	48.6%	52.8%

1 受入枠の拡充【平成31年度予算額 3,174,426千円】

平成31年度の保育施設整備計画を、当初の600人から1,200人へ倍増し、受入枠の拡充を図ります。

内
訳

- ① 保育所、認定こども園の新設等9か所 860人
- ② 小規模保育施設の設置8か所 155人
- ③ 既存保育所の定員増、企業主導型保育事業の推進等 185人

※ ①②については、従来に引き続き、施設建設費基準額の1/8を市が上乗せし、7/8を補助することで、事業者の負担を1/4から1/8に軽減します。

受入枠拡大
状況

平成28年度

+786人

平成29年度

+952人

平成30年度

+2,000人

平成31年度

+1,200人

4年間で受入枠4,950人拡大
2016年(平成28年)4月1日から

【参考：今年度の施設整備状況】

N0	施設区分	施設名等（仮称略）	場所	保育定員等	開設(予定)
1	保育所新設	アリス プレスクール Alice Preschool	中朝霧丘	80人	H30.9
2	認定こども園新設	明石こども園	藤江 (卸売市場)	200人	H31.4
3	保育所新設	ゆりのき COCORO 保育園	大久保町 (JT跡地)	200人	H31.4
4	保育所新設	明石あすの保育園	大久保町 (JT跡地)	200人	H31.4
5	保育所新設	星鈴保育園	明南町	110人	H31.4
6	認定こども園新設	北おうじ虹こども園	北王子	80人	H31.4
7	定員増	中尾保育所、高丘保育所	2か所	30人	H31.4
8	小規模保育事業	桜町ちいさな COCORO 保育園ほか	3か所	56人	H31.4
9	幼稚園の空間活用	市立幼稚園	27か所	685人	H31.4
10	企業主導型保育事業	市内事業者	18か所	356人	H31.4
受け入れ枠合計				1,997人	

2 保育士に対して質も量も充実 ～こどもにも保育士にもやさしいまち明石～

【平成31年度予算額 253,353千円】

保育士にやさしいまち明石として、保育士の確保、定着、専門性アップに向けた施策を充実させます。

これまで実施してきた、市内私立保育所等で勤務する保育士に対する経済的支援や私立保育所等に対する処遇改善事業や、就業支援事業などの保育士確保策を引き続き実施します。

加えて、保育士総合サポートセンターの活動を充実させることにより、保育の量の拡充に見合う保育士を確保するとともに、昨年度から実施しているキャリアアップ研修等を実施することで質の確保もあわせて強化します。

また、保育所職場環境向上に向けた支援を行うことで、保育士がより働きやすい職場づくりに取り組めるようにします。

定着

- ❖ 定着支援金等の経済的支援事業 継続
- ❖ 保育所職場環境向上事業 拡充

専門性アップ

- ❖ 研修の充実 継続
キャリアアップ研修、階層別研修など

確保

- ❖ 保育士総合サポートセンター充実 拡充
PR活動、求職者獲得機能の強化など
- ❖ 保育士就職フェア、バスツアー 継続